

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3771400458
法人名	悠悠有限会社
事業所名	悠悠せんねん村
所在地	香川県高松市香南町西庄692番地1 (電話)087-815-5822(梅ユニット)、087-815-8602(桜ユニット)

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成21年9月24日	評価決定日	平成21年10月28日

【情報提供票より】(平成21年8月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年3月1日						
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人				
職員数	15人	常勤	10人	非常勤	5人	常勤換算	12.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺 造り 2階建ての1階部分
------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,500円	その他の経費(月額)	9,000円+実費	
敷金	有()円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	450円
	夕食	500円	おやつ	200円
	または1日当たり	1,450円		

(4) 利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	7名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 83.3歳	最低	73歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高松平和病院、キナシ大林病院、のむら内科クリニック
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

県道より少し入ったところに事業所があり、果樹園や薬草を育て利用者の一部提供している。誰にもわかりやすい「や・さ・し・い」の頭文字の運営理念を掲示して日々の生活の指針としている。また、職員もその内容を理解して利用者に関わっている。事業所の多機能性を活かした支援活動も実際に行われており(台風の水害被害時の避難場所を提供したり、地域の介護研修の場、利用者の家族に対する宿泊の場の提供)等)利用者、家族、地域に貢献している。かかりつけ医の受診についても月2回の訪問診療と緊急時の往診を近隣の内科医と連携をとり対応している。利用者の自分らしい暮らしの継続のために職員一同力を注いでいるのがうかがえる。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	権利擁護に関する制度の理解と活用に職員全員が理解できるように、司法書士会に依頼して勉強会を実施し、今後も必要な人には制度利用できるように取り組んでいる。運営推進会議の会議内容の中に地域と交流することで相互に協働しあえるよう検討している。また、自主防災組織の検討もされている。ホーム全体で改善に努めているのがうかがえる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を記入する際に管理者、職員と一緒に全員で話し合っている。評価結果にも意見を出し合いよりよいケアにつなげるように質の向上に努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の討議内容には、地元自治会加入、ボランティアの事故に対する保険、防災に関する対策等が出ており、その中でも地元自治会加入することを検討中であった。地域連携とも関係しているので今後の取り組みに期待したい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等への報告については、月1回のお便りで利用者の様子、利用料の書類、その他意見などを郵送、手渡しで報告をしている。また、何かあれば電話連絡で話し合いをしている。玄関にご意見箱を設置している。また、年に1度個別に匿名でアンケートを利用者家族に取って集計し不満への解消に努めている。今後も継続的に取り組んで欲しい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	婦人会のボランティアと交流をもち外出時の支援を得ている。町の文化祭、盆踊り大会、花火大会等に参加して地域との交流を図っている。現在、当ホームが地元自治会に入会するかどうか検討中であるが、地元との交流をもっと深く持ちたいと考えているので一歩踏み出すことが望まれる。今後の取り組みに期待したい。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念として、「や」やさしい心で「さ」さわやかな笑顔「し」信頼関係を大切に「い」いっしょに楽しく、と誰にでもわかりやすく、玄関、共同スペースに掲示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、常に自分がグループホームに入居したらどうされたいかをまず考えるようにしている。「やさしい」の理念を会議や引継ぎの際、話し合い共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭り、花火大会、文化祭等町の行事に誘いを受けて参加をしている。地域交流を積極的にしようとする努力がうかがえる。	○	現在、運営推進会議で自治会加入について検討中である。今後、地域交流の円滑を図るためにも前向きに取り組んでほしい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の実施について運営者、管理者、職員は理解しており、自己評価や改善項目については、みんなで考えて意見を出している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に一度運営推進会議を開催しており、回数を重ねるたびに参加者の意識もあがり評価への取り組みにいかしている。	○	運営推進会議終了の際に、次回の検討課題を提案しておくことで、下調べ準備や進行がスムーズにできるような取り組みに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>旧高松市と合併して、広報紙も香南町についての情報は少しになったが、今後市とも連携して情報交換しホームの質の向上に努めていく姿勢である。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に一度、直接利用者や家族に対してホーム便りや電話連絡、事業所利用について書面等でそれぞれと個別に報告をしている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に、ご意見箱を設置している。また、年に1回匿名で家族アンケートの実施、集計をしてケアの向上に努めている。少数意見でも話し合いを持ち解決するように努力をしている。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動、離職については早めに伝えている。大きく変更しないよう利用者本位に配慮されている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人は研修に出席することについて協力的である。また、定期的に時間外に当ホームでテーマに沿って研修が実施されている。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の他業種事業所メンバーも参加する連絡協議会を定期に開催して勉強会や情報交換をし、サービスの向上に努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりのサービス開始で、不安や不穏にならないように入居前に自宅訪問で面接したり、生活環境の確認をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	個人の職歴、生活歴などから得意なこと(料理、裁縫等)を手伝ってもらったり、教えてもらったりしていい関係ができています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で、利用者の意見や思いを聞いている。わかりにくい方については、しぐさや表情でよみとっている。本人の気持ちを大切に把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	それぞれの個人の課題についてチームケアで(本人、家族、職員等)サービス担当者会議を開催している。問題解決するための介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	更新時、モニタリング時に本人、家族、職員等、医師と話し合いを持って新介護計画を作成している。その計画書は職員間で共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の事情により事業所で宿泊できるように配慮している。また、冠婚葬祭時の送迎、介護教室の開催、学生のボランティア受け入れ等多機能性を活かした支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の希望で入居以前からのかかりつけ医に入居後も継続して診てもらっている人がいる。近隣の内科医と契約して月に2回訪問診察がある。緊急時は往診もあり、利用者にとっては安心を得られる支援となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の聞き取り(アセスメント)の際、家族と相談をしている。また、本人や家族の状況の変化のたびに話し合いを持つようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人的な話については、利用者の部屋に誘って話すなどの配慮をしている。個人情報について、個人ファイルはロッカーの中に整理して秘密保持に努めている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活ペースを大切にして、その人らしいホームでの暮らしを支援することに努めている。長い間墓参りに行っていないという利用者に対しては、レクリエーションで外出する際にお墓参りも兼ねたルートにするなど、きめ細やかな支援をして普通に在宅で生活しているようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	身体的に食事の手伝いができる人は、食材を洗ったり、切ったりする。また、下膳やテーブルを拭くことも職員と一緒にしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望により夜に入浴したことがあった。現在は、昼間に入浴している。希望者があれば対応していく。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の中に、以前ゲートボール経験者がいてホームでも楽しみにしていた。常に趣味を生かした活動を考えている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	月に一度レクリエーションで外出するようにしている。身体的に不自由で車いすの方でも他の人と一緒に分け隔てなく外出するように支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は解放しており、職員の見守りも実施している。ただ、午後からの入浴時間は、職員数が少ないために玄関の施錠をしている。また、新規の利用者の入居時、事故防止のために必要に応じて施錠する場合もある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡マニュアルを作成して、地元消防に協力してもらい夜間火災避難訓練の実施をしている。防災グッズも備えて定期的に点検をし、万一の事態に備えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分、排泄チェックをして一人ひとりの様子を把握し、好き嫌いがないように食材の切り方や味付けに工夫をして、栄養が取れるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先にグリーンを配置している。また、清潔にされている。最近、インフルエンザ対策として、ウイルス、カビ、消臭の効果があるプラズマクラスターイオン発生器の導入で事業所内の環境保全と感染予防に努めている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、自宅から馴染みの品(机、いす、ソファ)を持ち込んで環境の急変をしないような工夫をしている。		